

Weekly Global Economy

米国 今週発表予定の経済指標等の見通し

発表日：06年11月13日(月)

～前月比でのインフレの落ち着き、消費の堅調さ、企業部門の緩やかな鈍化が確認されよう～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

(03-5221-5001 : seiji@dlri.dai-ichi-life.co.jp)

当面の経済指標等の予測

日時(日本時間)		単位	予測	コンセンサス	前月
2006/11/14 22:30	10月 PPI	前月比	-0.6%	-0.6%	-1.3%
2006/11/14 22:30	10月 PPIコア	前月比	0.1%	0.1%	0.6%
2006/11/14 22:30	10月 小売売上高	前月比	-0.3%	-0.4%	-0.4%
2006/11/14 22:30	10月 小売売上高(除自動車)	前月比	-0.1%	-0.2%	-0.5%
2006/11/15 0:00	11月 IBD/TIPP景気楽観指数		53.0	--	52.4
2006/11/15 0:00	9月 企業在庫	前月比	0.5%	0.5%	0.6%
2006/11/15 2:00	セントルイス連銀総裁、金融政策について講演				
2006/11/15 2:00	ボストン連銀総裁、不動産関連の昼食会で講演				
2006/11/15 5:45	サンフランシスコ連銀総裁、フレスノで講演				
2006/11/15 7:00	週間 ABC消費者信頼感指数		-3.0	--	-3.0
2006/11/15 21:00	週間 MBA住宅ローン申請指数		0.0	0.0	0.1
2006/11/15 22:30	11月 ニューヨーク連銀製造業景気指数		12.1	15.0	22.9
2006/11/16 4:00	10月24、25日のFOMC議事録				
2006/11/16 22:30	10月 CPI	前月比	-0.4%	-0.3%	-0.5%
2006/11/16 22:30	10月 CPIコア	前月比	0.2%	0.2%	0.2%
2006/11/16 22:30	週間 新規失業保険申請件数	千件	312	311	308
2006/11/16 22:30	週間 失業保険継続受給者数	千件	2434	--	2448
2006/11/16 22:45	クリーブランド連銀総裁、同銀会議で開会スピーチ				
2006/11/16 23:00	9月 対米証券投資(ネット)	10億ドル	98.0	67.0	116.8
2006/11/16 23:10	クロズナーFRB理事、ワシントンで講演				
2006/11/16 23:15	10月 鉱工業生産	前月比	0.3%	0.3%	-0.6%
2006/11/16 23:15	10月 設備稼働率	%	82.0%	82.0%	81.9%
2006/11/17 0:00	バイズFRB理事、バーゼルIIについて講演				
2006/11/17 0:00	シカゴ連銀総裁、シカゴで講演				
2006/11/17 2:00	11月 フィラデルフィア連銀製造業景気指数		5.0	5.0	-0.7
2006/11/17 3:00	11月 NAHB住宅市場指数		30.0	30.0	31.0
2006/11/17 21:30	ECB副総裁、ダラス連銀総裁ら、独フランクフルトの会議出席				
2006/11/17 22:30	10月 住宅着工件数	千戸	1690	1675	1772
2006/11/17 22:30	10月 建設許可件数	千戸	1635	1625	1619
2006/11/17 22:45	クリーブランド連銀総裁、同銀会議2日目の開会スピーチ				

(出所) コンセンサスはBloomberg調べ、予測は筆者。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

●11月14日

・10月の生産者物価（最終財）は、エネルギー価格の下落によって前月比▲0.6%とマイナスの伸びが予想される。コアは前月比+0.1%と前月に急上昇した自動車価格の鈍化によって小幅増にとどまろう。生産者段階の原材料価格、中間財価格が下落しており、少なくとも2007年1～3月期にかけて生産者物価（最終財）は3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率で緩やかな上昇にとどまると予想される。

・10月の小売売上高はエネルギー価格の下落、自動車販売の減少、一部小売の店舗改装による売上高減によって前月比▲0.3%とマイナスの伸びが続く見込み。自動車を除く小売売上高もガソリン価格の下落を背景に前月比▲0.1%とマイナスが続く見込み。しかし、ガソリンを除く小売売上高は、雇用・所得の拡大、リファイナンスの拡大、株高を背景に前月比でプラス基調を維持すると予想される。さらに、自動車・ガソリン・建材を除く小売売上高は3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率で6%程度の伸びを維持するとみられ、個人消費が堅調さを維持していることが確認されよう。

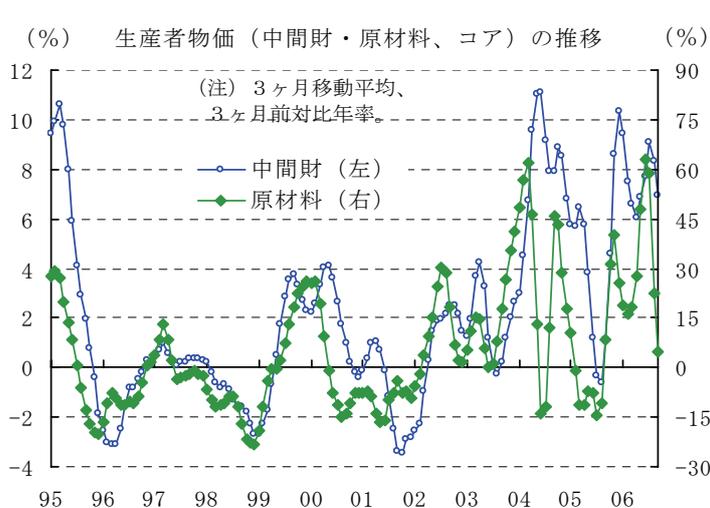
・9月の企業在庫は、製造業が前月比+0.6%、卸売業が同+0.8%となる中で、小売が同+0.3%増加し、全体で同+0.5%が予想される。ただし、3ヶ月前差年率では鈍化トレンドに入ったと見込まれ、2007年前半にかけて在庫調整局面が続くとみられる。在庫循環図でも、売上が前月比でマイナスになっていることから、45度線を明確に越えよう。

生産者物価 (Producer Price Indexes)

	最終財		コア			エネルギー		中間財		原材料		<参考> 輸入物価コア		WTI
	前月比	(前年同月比)	前月比											
06/01	+0.3	(+5.6)	+0.4	(+1.3)	+0.1		+1.0	+0.9	▲0.8	▲0.2	+0.3		+0.3	65.5
06/02	▲1.2	(+3.9)	+0.3	(+1.7)	▲4.5		▲0.5	+0.3	▲8.4	+3.1	▲0.7		▲0.7	61.9
06/03	+0.4	(+3.6)	+0.2	(+1.7)	+1.5		+0.2	+0.4	▲2.6	+1.3	▲0.3		▲0.3	63.0
06/04	+0.9	(+4.1)	+0.1	(+1.5)	+4.0		+1.0	+0.6	+2.6	+5.3	+0.1		+0.1	70.2
06/05	+0.1	(+4.5)	+0.3	(+1.5)	+0.8		+1.1	+1.1	+1.7	+9.2	+0.7		+0.7	71.0
06/06	+0.5	(+4.9)	+0.3	(+1.9)	+0.3		+0.4	+0.5	▲2.6	▲2.2	+0.4		+0.4	71.0
06/07	+0.1	(+4.2)	▲0.3	(+1.3)	+1.3		+0.5	+0.7	+3.1	+1.3	+0.1		+0.1	74.4
06/08	+0.1	(+3.7)	▲0.4	(+0.9)	+0.3		+0.4	+0.4	+2.2	▲2.8	+0.5		+0.5	73.1
06/09	▲1.3	(+0.9)	+0.6	(+1.2)	▲8.4		▲1.4	+0.1	▲3.4	+1.0	+0.1		+0.1	63.9

(出所) 労働省 (Department of Labor)

(注) 数字は季調済前月比。但し、() 内は前年同月比 (未季調)。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

小売・飲食サービス売上高 (Retail and Food Services Sales)

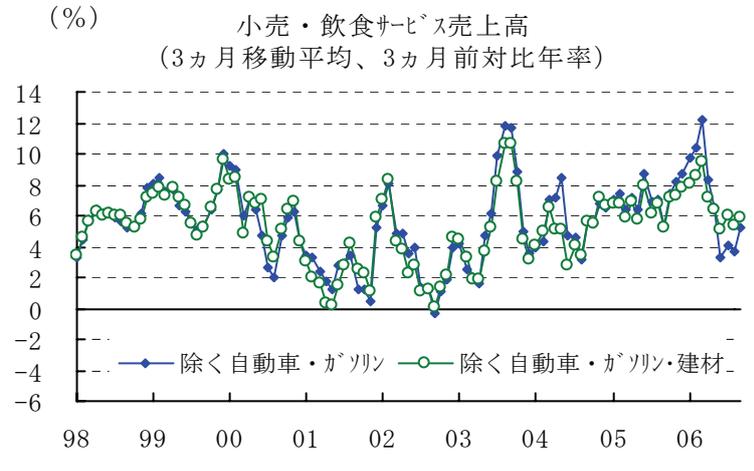
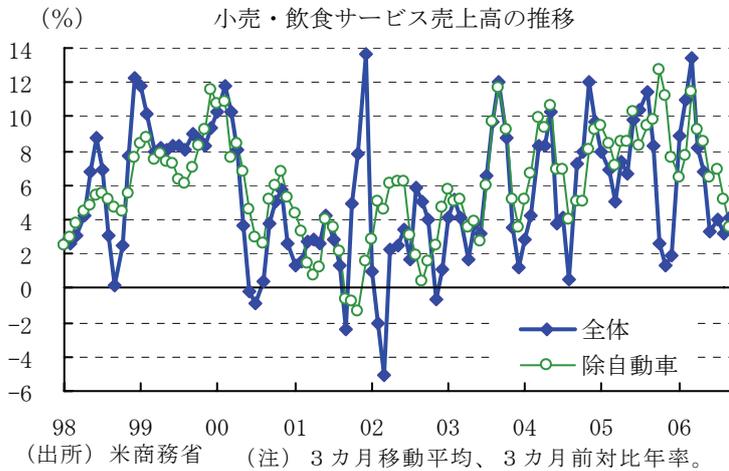
	小売・飲食サービス売上高		耐久財関連 (*1)				非耐久財関連 (*2)			
		除く車	自動車	家具	家電	衣料品	ガソリン			
06/01	+3.0	(+9.4)	+2.7	+5.2	+4.1	+6.6	+7.1	+1.7	+2.6	+4.5
06/02	▲0.8	(+7.4)	▲0.2	▲2.4	▲3.1	▲2.6	▲3.5	+0.3	▲1.1	▲1.3
06/03	+0.7	(+8.0)	+0.6	+1.2	+1.3	+0.4	▲0.1	+0.3	+0.5	+0.4
06/04	+0.7	(+7.0)	+0.7	▲0.3	+0.4	+0.6	+0.3	+1.4	+0.5	+5.7
06/05	+0.2	(+7.6)	+0.8	▲1.2	▲2.1	+0.5	+0.8	+1.1	+0.7	+2.0
06/06	▲0.5	(+5.3)	▲0.0	▲1.8	▲2.4	+0.9	▲0.5	+0.2	+0.5	+0.1
06/07	+1.4	(+4.8)	+0.7	+2.7	+4.1	▲0.1	+0.7	+0.7	+1.2	+1.5
06/08	+0.1	(+6.4)	+0.2	▲0.1	▲0.4	▲0.1	+0.1	▲0.0	▲0.2	▲1.3
06/09	▲0.4	(+5.5)	▲0.5	+0.2	+0.0	+0.2	+0.2	▲1.0	+3.0	▲9.3

(出所) 商務省 (Department of Commerce)

(注) 数字は季調済前月比。但し、() 内は前年同月比 (未季調)。

*1: 耐久財関連は、自動車・家具・家電・建材関連の売上の合計。

*2: 非耐久財関連は、小売売上高の合計から、耐久財関連を除いたもの。



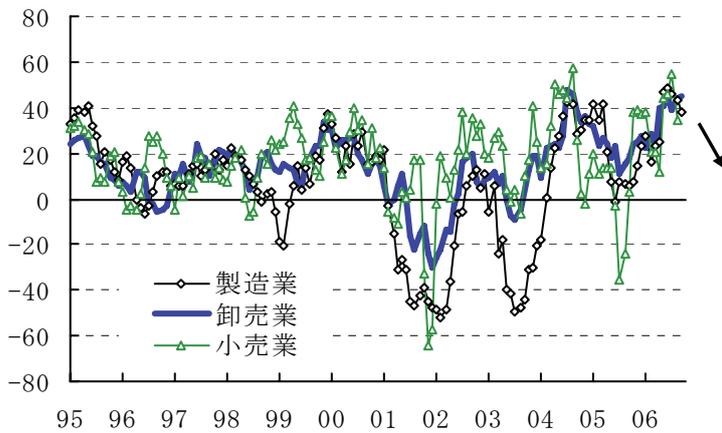
企業在庫 (Manufacturing and Trade Inventories and sales)

	企業在庫				企業売上			在庫率		
	Inventories	製造業 Manufacturers	小売業 Retailers	卸売業 Merchant wholesalers	Sales	Inventories/ Sales Ratio	製造業	小売業	卸売業	
06/01	+0.5	+0.9	+0.3	+0.2	+1.4	1.250	1.148	1.457	1.163	
06/02	+0.1	▲0.5	▲0.0	+0.9	▲0.8	1.260	1.161	1.468	1.169	
06/03	+0.7	+0.9	+0.8	+0.6	+0.9	1.259	1.160	1.469	1.165	
06/04	+0.7	+1.0	▲0.1	+1.3	+0.6	1.259	1.172	1.457	1.163	
06/05	+1.1	+0.7	+1.6	+0.9	+1.6	1.253	1.152	1.478	1.152	
06/06	+0.9	+0.9	+0.9	+0.8	+0.2	1.262	1.164	1.499	1.148	
06/07	+0.7	+0.8	+0.4	+0.9	+0.5	1.263	1.175	1.483	1.152	
06/08	+0.7	+0.6	+0.5	+1.2	+0.5	1.266	1.172	1.491	1.158	

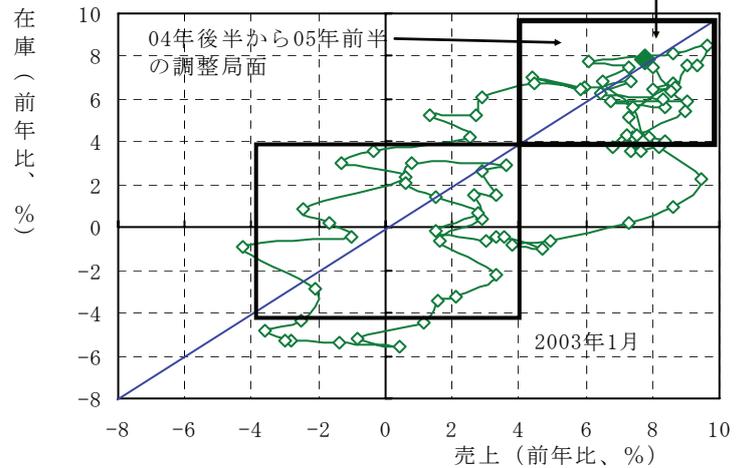
(出所) 商務省 (Department of Commerce)

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

(10億ドル) 業態別在庫の推移 (3ヶ月前差年率)



企業売上・在庫循環図 (期) 06年8月



●11月15日

・11月のNY連銀製造業景気指数はここもとの製造業の緩やかな鈍化を映じて前月から低下が予想される。変動の大きい統計であり、移動平均で緩やかな鈍化傾向が示されよう。

・10月24、25日のFOMC議事録では、FOMCメンバー引き続きインフレに対して警戒が強いことが示されよう。景気が堅調さを維持していること、インフレ圧力が残存していることが指摘されていると予想される。

NY連銀製造業景気指数の推移

	総合	新規受注	出荷	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	販売価格	週平均就業時間
06/01	20.12	27.19	31.99	11.29	-12.33	1.37	2.70	46.58	27.40	11.71
06/02	21.02	27.14	32.22	5.99	-2.80	2.80	3.76	53.27	21.50	5.47
06/03	29.03	26.99	36.50	20.08	8.55	9.40	13.22	39.32	12.82	23.61
06/04	15.81	14.11	14.00	17.41	1.61	1.61	-2.90	37.90	14.52	5.44
06/05	12.94	16.22	17.08	9.70	1.63	7.32	2.84	43.09	14.63	9.42
06/06	29.01	25.81	30.32	5.12	-9.09	5.79	9.44	52.89	19.01	11.28
06/07	16.58	11.30	12.31	6.38	-12.84	4.59	4.02	50.46	16.51	9.54
06/08	11.04	19.76	15.41	6.45	-10.66	1.64	-6.63	44.26	14.75	14.38
06/09	13.84	13.96	20.56	12.47	-4.00	0.00	2.26	41.00	16.00	22.59
06/10	22.92	11.75	22.54	19.39	2.50	-5.00	-1.51	30.83	17.50	14.44

NY連銀製造業景気指数 (6ヵ月先予測) の推移

	総合	新規受注	出荷	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	販売価格	週平均就業時間	設備投資
06/01	47.56	51.29	47.59	33.31	-4.11	-5.48	9.87	61.64	35.62	17.02	31.51
06/02	38.41	47.98	48.49	29.43	-2.80	10.28	8.66	57.01	27.10	17.25	41.12
06/03	38.08	31.33	36.72	22.98	-5.98	-1.71	-0.47	49.57	26.50	12.41	37.61
06/04	42.65	43.78	43.21	22.49	-4.84	6.45	1.96	50.00	25.81	13.94	37.90
06/05	30.17	36.21	32.68	22.53	-4.88	-0.81	4.73	59.35	32.52	4.55	32.52
06/06	33.66	34.14	28.84	13.09	-2.50	-1.67	4.28	62.50	35.83	4.63	20.00
06/07	44.99	44.14	40.81	19.17	-11.93	-1.83	8.60	60.55	36.70	9.04	22.02
06/08	35.80	38.77	37.40	20.76	-2.46	-9.02	1.55	54.92	34.43	9.35	26.23
06/09	35.20	41.27	41.78	19.34	-9.00	-9.00	7.14	52.00	37.00	10.55	36.00
06/10	30.17	33.05	30.00	24.86	-1.68	-4.20	9.64	39.50	26.89	11.55	30.25

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

NY連銀製造景気指数の推移



NY連銀製造新規受注DIの推移



●11月16日

・10月の消費者物価指数はエネルギー価格の下落によって前月比▲0.4%とマイナスが見込まれる。一方、コア物価は、公益費の上昇に伴う帰属家賃の落ち着きによってサービスコアが鈍化し前月比+0.20%が予想される。ただし、前年比では+2.9%と高止まりするとみられ利下げ観測が後退する可能性がある。

・9月対米証券投資は、株式市場の上昇等を背景に980億ドルと高水準が続く見込み。

・10月鉱工業生産は前月に大幅に下落した公益が上昇に転じ、全体でも前月比+0.3%とプラスに転じよう。製造業は自動車部門で生産調整が実施されているものの、労働投入量が前月比横ばいとなっていることなどから、前月比横ばいが予想される。設備稼働率は生産能力指数の拡大が見込まれるが、生産の拡大によって小幅上昇が予想される。

・11月のフィラデルフィア連銀製造業景気指数は、2ヵ月連続のマイナスの後、プラスに転じると見込まれるものの、緩やかな鈍化傾向にあることが確認されよう。

・11月のNAHB住宅市場指数は、住宅需要の鈍化が続いているとみられ前月と変わらず低水準にとどまる公算が大きい。

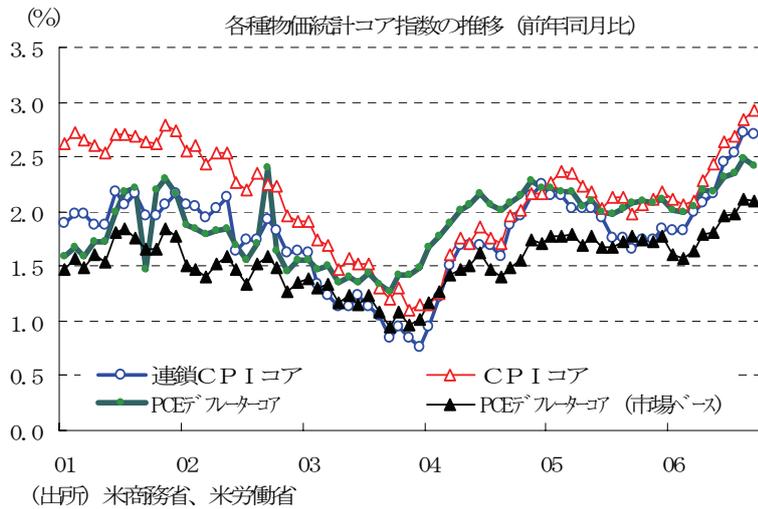
消費者物価 (Consumer Price Index)

	消費者物価											
	コア		エネルギー		食品	住宅	アパレル	運輸	医療	商品コア	サービスコア	
06/01	+0.7	(+4.0)	+0.20	(+2.1)	+5.0	+0.5	+0.5	+0.3	+1.8	+0.1	+0.2	+0.2
06/02	+0.1	(+3.6)	+0.15	(+2.1)	▲1.2	+0.2	+0.1	▲1.0	▲0.2	+0.5	▲0.1	+0.3
06/03	+0.4	(+3.4)	+0.34	(+2.1)	+1.3	+0.1	+0.2	+1.0	+0.9	+0.4	+0.3	+0.3
06/04	+0.6	(+3.5)	+0.29	(+2.3)	+3.9	+0.0	+0.1	+0.6	+2.4	+0.4	+0.1	+0.3
06/05	+0.4	(+4.2)	+0.29	(+2.4)	+2.4	+0.2	+0.3	+0.2	+1.5	+0.3	+0.1	+0.4
06/06	+0.2	(+4.3)	+0.29	(+2.6)	▲0.9	+0.3	+0.2	+0.0	▲0.2	+0.3	+0.1	+0.4
06/07	+0.4	(+4.1)	+0.19	(+2.7)	+2.9	+0.2	+0.3	▲1.2	+1.6	+0.2	▲0.1	+0.4
06/08	+0.2	(+3.8)	+0.24	(+2.8)	+0.3	+0.3	+0.2	+0.9	+0.2	+0.4	+0.2	+0.2
06/09	▲0.5	(+2.1)	+0.24	(+2.9)	▲7.2	+0.4	+0.3	+0.6	▲4.1	+0.3	▲0.1	+0.3

(出所) 労働省 (Department of Labor)

(注) 数字は季調済前月比。但し、() 内は前年同月比 (未季調)。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

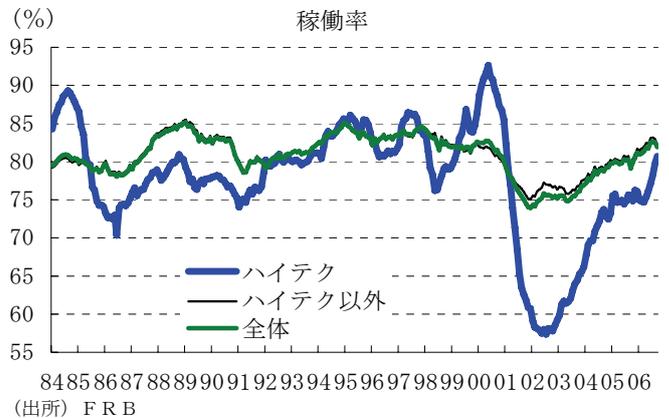
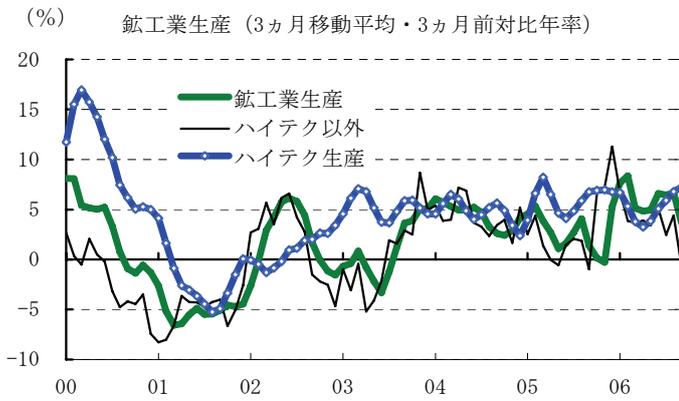


鉱工業生産 (Industrial Production and Capacity Utilization)

鉱工業生産		製造業 (NAICS)			鉱業	公益	ハイテク 関連	除ハイテク 関連	自動車関連	設備稼働率	製造業 (NAICS)	生産能力
06/01	▲0.1 (+3.2)	+0.9	+2.3	▲10.0	+0.1	+0.9	+2.6	+80.9	+80.2	+0.2		
06/02	+0.4 (+3.1)	▲0.2	+0.7	+5.7	+1.2	▲0.3	▲0.9	+81.1	+79.9	+0.2		
06/03	+0.5 (+3.7)	+0.4	▲0.1	+1.7	+1.0	+0.3	+1.5	+81.3	+80.0	+0.2		
06/04	+0.8 (+4.6)	+0.9	+1.7	▲1.3	+1.7	+0.9	▲0.3	+81.8	+80.6	+0.2		
06/05	+0.1 (+4.4)	▲0.2	+0.5	+1.9	+1.8	▲0.4	▲1.3	+81.7	+80.2	+0.2		
06/06	+1.1 (+4.7)	+1.0	+0.9	+2.9	+2.0	+0.7	+3.2	+82.5	+80.8	+0.2		
06/07	+0.3 (+5.1)	+0.4	▲0.2	+0.6	+2.1	+0.3	▲5.2	+82.6	+80.9	+0.2		
06/08	+0.0 (+4.8)	+0.3	▲0.5	▲0.9	+2.5	+0.1	+1.9	+82.5	+81.0	+0.2		
06/09	▲0.6 (+5.6)	▲0.3	+0.7	▲4.4	+1.9	▲0.5	▲2.1	+81.9	+80.6	+0.2		

(出所) FRB

(注) 数字は前月比、但しカッコ内は前年同月比。

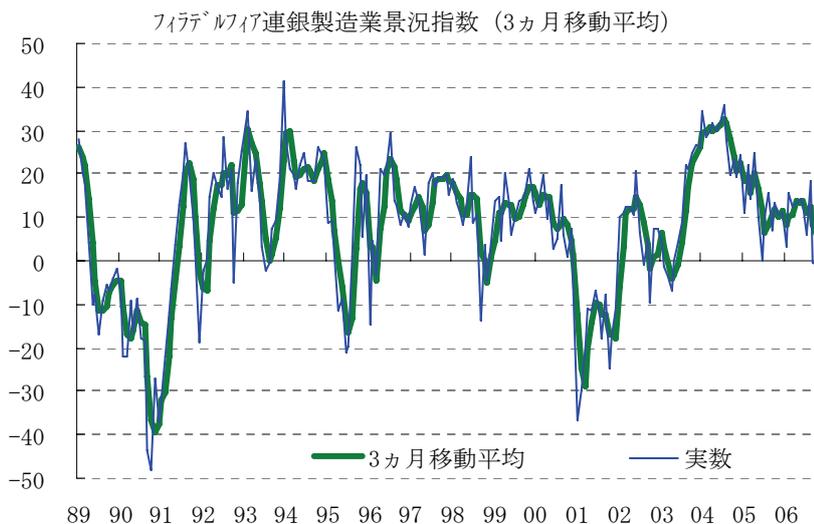


フィラデルフィア連銀製造業景況指数

現状 総合	新規受注	出荷	在庫	雇用	出荷遅延	受注残	販売価格	仕入れ価格	交易条件	6ヵ月先見通し 総合	
06/01	3.3	11.1	18.6	9.1	11.7	8.6	▲0.9	21.9	44.9	▲23.0	28.7
06/02	15.4	12.5	22.5	9.3	11.3	8.6	10.2	18.2	30.5	▲12.3	31.1
06/03	12.3	20.8	24.3	11.1	5.4	3.7	5.7	15.4	17.2	▲1.8	14.6
06/04	13.2	12.2	19.0	▲8.8	21.7	▲4.1	7.0	15.4	29.0	▲13.6	28.2
06/05	14.4	2.7	11.7	▲3.9	1.1	9.6	▲2.2	10.3	55.3	▲45.0	22.5
06/06	13.1	17.7	17.7	▲5.2	6.8	▲1.2	▲2.1	14.0	48.7	▲34.7	6.8
06/07	6.0	10.1	10.2	▲1.8	12.8	▲1.4	▲8.1	17.1	50.3	▲33.2	15.4
06/08	18.5	15.7	22.3	5.6	8.2	2.0	0.6	17.1	45.3	▲28.2	7.4
06/09	▲0.4	▲1.3	▲6.8	4.2	10.7	▲0.5	▲5.3	21.6	38.1	▲16.5	▲0.2
06/10	▲0.7	13.4	5.3	13.2	9.4	▲9.4	▲11.1	17.8	32.0	▲14.2	16.7

(出所) フィラデルフィア連銀

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。



	住宅市場指数			
	現状販売	6ヵ月後販売見通	客足	
06/01	57	62	66	41
06/02	56	61	64	40
06/03	54	59	62	40
06/04	51	55	59	39
06/05	46	50	55	33
06/06	42	47	51	29
06/07	39	43	46	27
06/08	33	37	41	22
06/09	30	32	37	22
06/10	31	32	41	23



●11月17日

・10月住宅着工件数は、住宅販売が減少したうえ在庫が増加したこと、着工許可件数が9月にかけて減少したことを背景に前月から減少が予想される。

住宅着工・許可件数 (Housing Starts and Building Permits)

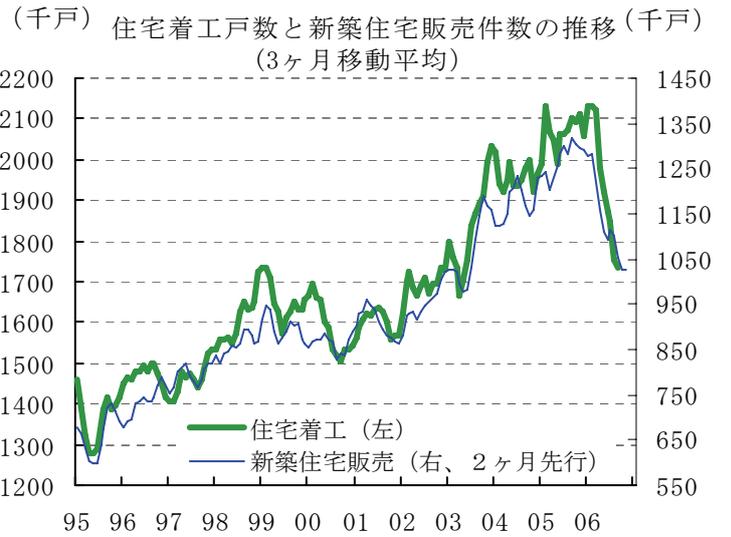
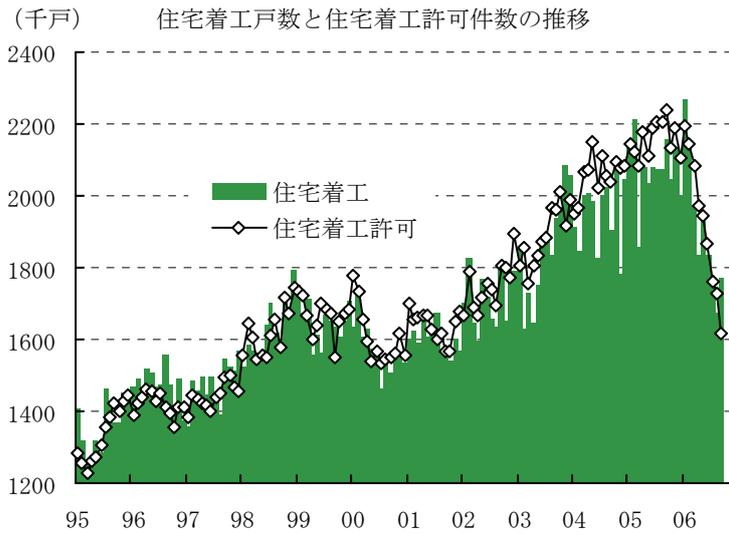
	住宅着工				住宅許可				モーゲージ金利	住宅市場指数	
	一戸建て	2～4戸	5戸以上		北東部	中西部	南部	西部			
06/01	2265	1814	27	424	241	369	1136	519	2195	6.10	57
06/02	2132	1812	35	285	186	326	1038	582	2147	6.23	56
06/03	1972	1615	36	321	166	294	1023	489	2085	6.38	54
06/04	1832	1524	56	252	178	338	881	435	1973	6.54	51
06/05	1953	1587	51	315	198	294	950	511	1946	6.64	46
06/06	1833	1478	44	311	168	298	910	457	1869	6.72	42
06/07	1760	1445	83	232	148	293	889	430	1763	6.71	39
06/08	1674	1367	41	266	156	261	855	402	1727	6.41	33
06/09	1772	1426	32	314	134	270	975	393	1619	6.28	30
06/10										6.30	31

(出所) 商務省、FRB

(注1) 住宅着工の正式分類は、1戸建、2戸建、3～4戸建、5戸建以上。

(注2) モーゲージ金利の出所はFRB。別統計。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

＜日本・海外経済＞月間スケジュール (06年11月～07年1月)

11月

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
30 9月鉱工業生産(8:50) (米)9月個人所得・消費	31 9月家計調査(8:30) 9月労働力調査(8:30) 9月職業紹介状況(8:30) 9月毎月勤労統計(10:30) 夏季賞与同時公表 9月住宅着工統計(14:00) 金融政策決定会合 10月BOJ展望レポート(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) (米)7～9月期雇用コスト指数 (米)10月消費者信頼感 (米)10月シカゴPMI (欧)10月消費者物価(速)	11/1 10月自動車販売(14:00) 10月軽自動車販売(14:00) (米)9月建設支出 (米)10月ISM製造業指数 (米)10月自動車販売台数	2 10月マネタリーベース(8:50) 9月消費状況調査(14:00) (米)7～9月期労働生産性 (米)9月製造業受注 (欧)ECB理事会 (欧)10月製造業PMI	3 (米)10月雇用統計 (米)10月ISM非製造業指数
6	7 10年利付国債 (米)9月消費者信用残高	8 9月景気動向指数(14:00)	9 10月マネーサプライ(8:50) 10月貸出・資金吸収(8:50) 10月景気ウォッチャー (米)9月貿易収支 (米)10月輸入物価 (米)11月ミシガン大センチ(速) (米)9月卸売在庫 (英)BOE金融政策委員会	10 9月機械受注(14:00) 10～12月期機械受注見通し (仏)7～9月期実質GDP
13 9月国際収支(8:50) 10月企業物価(8:50) 9月鉱工業指数・確(13:30) 9月商業販売統計・確(13:30) 10月消費動向調査(14:00) (米)10月財政収支 *(インドネシア)7～9月期実質GDP	14 7～9月期GDP速報(8:50) 5年利付国債 (米)10月生産者物価 (米)10月小売売上高 (米)9月企業在庫 (欧)7～9月期実質GDP (独)7～9月期実質GDP (伊)7～9月期実質GDP	15 9月第3次産業活動指数(8:50) 10月交易条件(8:50) 金融政策決定会合(～16日) ※11月月例経済報告 (米)11月NY連銀製造業指数 (英)インフレーションレポート	16 9月毎月勤労統計・確(10:30) 9月景気動向指数改訂(14:00) 11月金融経済月報(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) 15年変動利付国債 (米)10月消費者物価 (米)10月鉱工業生産 (米)11月NAHB住宅市場指数 (米)11月フィフ連銀指数 (欧)10月消費者物価	17 ※06年9月市街地価格指数(10:00) 9月建設総合統計(14:00) (米)10月住宅着工件数
20 (米)10月景気先行指数	21 金融政策決定会合議事要旨(10月12・13日分) 20年利付国債 (香港)7～9月期実質GDP	22 9月全産業活動指数(8:50) ※10月貿易統計(8:50)	23 (独)11月IFO景況感指数	24 *(独)11月IFO景況感指数 (台湾)7～9月期実質GDP (マレーシア)7～9月期実質GDP
27 10月CSPI(8:50)	28 10月商業販売統計(8:50) 2年利付国債 (米)10月耐久財受注 (米)10月中古住宅販売件数 (米)11月リッチモンド連銀指数 (米)11月消費者信頼感	29 10月鉱工業生産(8:50) (米)7～9月期実質GDP (米)10月新築住宅販売件数 (米)ページブック (フィリピン)7～9月期実質GDP	30 11月ロイター短観(8:30) 10月住宅着工統計(14:00) (米)10月個人所得・消費 (米)10月求人広告指数 (米)11月シカゴPMI (欧)10月消費者物価(速) (インド)7～9月期実質GDP	12/1 10月消費者物価・全(8:30) 11月消費者物価・都(8:30) 10月労働力調査(8:30) 10月家計調査(8:30) 10月職業紹介状況(8:30) 11月自動車販売(14:00) 11月軽自動車販売(14:00) (米)10月建設支出 (米)11月ISM製造業指数 (米)11月自動車販売台数 (欧)11月製造業PMI

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

12月

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
27 10月CSPI(8:50)	28 10月商業販売統計(8:50) 2年利付国債 (米)10月耐久財受注 (米)10月中古住宅販売件数 (米)11月リッチメント連銀指数 (米)11月消費者信頼感	29 10月鉱工業生産(8:50) (米)7~9月期実質GDP (米)10月新築住宅販売件数 (米)ページブック (フィリピン)7~9月期実質GDP	30 11月ロイター短観(8:30) 10月住宅着工統計(14:00) (米)10月個人所得・消費 (米)10月求人広告指数 (米)11月シカゴPMI (欧)11月消費者物価(速) (インド)7~9月期実質GDP	12/1 10月消費者物価・全(8:30) 11月消費者物価・都(8:30) 10月労働力調査(8:30) 10月家計調査(8:30) 10月職業紹介状況(8:30) 11月自動車販売(14:00) 11月軽自動車販売(14:00) (米)10月建設支出 (米)11月ISM製造業指数 (米)11月自動車販売台数 (欧)11月製造業PMI
4 7~9月期法人企業統計(8:50) 11月マネタリーベース(8:50) 10月毎月勤労統計(10:30) (タイ)7-9月期実質GDP	5 10月消費状況調査(14:00) 10年利付国債 (米)10月製造業受注	6 10月景気動向指数(14:00) (豪)7-9月期実質GDP	7 10年物価連動国債 (米)10月消費者信用残高 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策委員会	8 7~9月期GDP2次速報(8:50) 11月マネーサプライ(8:50) 11月貸出・資金吸収(8:50) 10月機械受注(14:00) 11月景気ウォッチャー (米)11月雇用統計 (米)11月ミンガンズセンチ(速)
11 11月消費動向調査(14:00) (米)10月卸売在庫	12 11月企業物価(8:50) 5年利付国債 (米)FOMC (米)10月貿易収支 (米)11月財政収支	13 10月国際収支(8:50) 10月鉱工業指数・確(13:30) 10月商業販売統計・確(13:30) (米)11月小売売上高 (米)10月企業在庫	14 11月交易条件(8:50) (米)11月輸入物価	15 12月日銀短観(8:50) 10月第3次産業活動指数(8:50) 10月毎月勤労統計・確(10:30) 10月景気動向指数改訂(14:00) (米)11月消費者物価 (米)12月NY連銀製造業指数 (米)11月鉱工業生産 (欧)11月消費者物価
18 7~9月期資金循環(8:50) 12月短観業種別計数及び調査 全容(8:50) 10月建設総合統計(14:00) 金融政策決定会合(~19日) ※12月月例経済報告 (米)12月NAHB住宅市場指数	19 12月金融経済月報(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) 20年利付国債 (米)11月生産者物価 (米)11月住宅着工件数	20	21 12月ロイター短観(8:30) 10月全産業活動指数(8:50) ※11月貿易統計(8:50) 2年利付国債 (米)7-9月期GDP(最終値) (米)11月景気先行指数 (米)12月フィラ連銀指数 (独)12月IFO景況感指数	22 金融政策決定会合議事要旨 (10月31日、11月15-16日分) (米)11月個人所得・消費 (米)11月耐久財受注 (米)11月ミンガンズセンチ(確)
25 10~12月法人企業景気予測調 査(8:50)	26 11月消費者物価・全(8:30) 12月消費者物価・都(8:30) 11月労働力調査(8:30) 11月家計調査(8:30) 11月職業紹介状況(8:30) 11月CSPI(8:50) (米)12月リッチメント連銀指数	27 11月商業販売統計(8:50) 11月住宅着工統計(14:00) (米)11月新築住宅販売件数	28 11月鉱工業生産(8:50) 11月毎月勤労統計(10:30) 11月消費状況調査(14:00) (米)12月消費者信頼感 (米)12月シカゴPMI (米)11月中古住宅販売件数	29 (米)11月求人広告指数

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

07年1月

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1/1	2	3	4	5 12月マネタリーベース(8:50) 12月自動車販売(14:00) 12月軽自動車販売(14:00)
8	9	10 (米)12月貿易収支	11 11月景気動向指数(14:00) ※10年利付国債 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策委員会	12 12月マネーサプライ(8:50) 12月貸出・資金吸収(8:50) 12月景気ウォッチャー
15 11月機械受注(14:00)	16 12月企業物価(8:50) 11月鉱工業指数・確(13:30) 11月商業販売統計・確(13:30)	17 11月国際収支(8:50) 12月消費動向調査(14:00) 金融政策決定会合(～18日) ※5年利付国債 ※1月月例経済報告 (米)ページブック	18 11月第3次産業活動指数(8:50) 12月交易条件(8:50) 11月毎月勤労統計・確(10:30) 11月景気動向指数改訂(14:00) 1月金融経済月報(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30)	19 11月建設総合統計(14:00) ※30年利付国債
22	23 金融政策決定会合議事要旨 (12月18・19日分) (米)1月リッチメント連銀指数	24 11月全産業活動指数(8:50) ※15年変動利付国債	25 ※12月貿易統計(8:50) ※1月主要銀行貸出アンケート 調査(8:50) (米)12月中古住宅販売件数	26 12月消費者物価・全(8:30) 1月消費者物価・都(8:30)以上 12月CSP(8:50) ※20年利付国債
29 ※12月商業販売統計(8:50)	30 12月労働力調査(8:30) 12月家計調査(8:30) 12月職業紹介状況(8:30) 12月鉱工業生産(8:50)	31 12月毎月勤労統計(10:30)年平均同時公表 ※12月住宅着工統計(14:00) ※2年利付国債 (米)10～12月期GDP(速) (米)FOMC (フィリピン)10～12月期実質GDP	2/1 (米)12月個人所得・消費	2

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。